

高齢者の 便失禁のアセスメント

積 美保子

JCHO 東京山手メディカルセンター 看護部 副看護師長, 皮膚・排泄ケア認定看護師

Point

- ▶ 高齢者ではさまざまな併存疾患や生活習慣などの影響を受けることで、便秘や便失禁などの排便の変調をきたしやすい
- ▶ 便失禁を引き起こす原因を把握するためには、患者個々の詳細な病歴や生活習慣、排便習慣、食習慣、基礎疾患や治療歴、内服薬などの確認が必要である
- ▶ 問診票や排便日誌を用いて症状などを系統立てて聴取し、便失禁をアセスメントする

はじめに

高齢に伴いさまざまな健康問題が出現しますが、排便障害の症状を訴える人も増加します。これには、身体的・精神的変化が影響しています。たとえば、体力が衰え、それまで支障なく行っていた社会的活動が困難になり、悪化すると日常生活に支障をきたしたり、疾病にも罹患しやすくなります。体力だけでなく、視力、聴力などの感覚機能の衰えも加わることで、心理的にも影響を及ぼします。精神的にうつ傾向となり、気分が落ち込むようになります。気分が落ちこむとますます活動性が低下し食事摂取量も減少し、排便困難

や便秘などの排便障害が起こりやすくなります。すっきり排便できなくなったことをきっかけに下剤を服用した結果、下痢でトイレに間に合わなくなり、便失禁になってしまう場合があります。

排便は健康で快活な生活を維持していくためには欠かせない日常的な営みであり、排便の不調、とくに便失禁は患者にとって身体的・精神的な負担となり、quality of life を損なう大きな要因となります。便失禁を訴える患者は、下着の汚染やおいのために日常生活が制限される場合があります。それまでの自立した生活で培われてきた自尊

心が低下し、便失禁を気にして外出や旅行、人との付き合いを控えるなどの社会生活に影響を及ぼしている場合があります。認知症や運動機能の健康問題がある高齢者では、便失禁は家族や介護者にもケアの負担がかかり介護上の大きな問題とな

ります。

本章では、高齢者の便失禁についてどのように考えれば問題点を明らかにすることが可能か、問診票や排便日誌を用いて看護師が行う便失禁のアセスメント方法について紹介します。

加齢に伴う排便機能の変化とは (表1)

高齢者では、腸管の固有筋層の萎縮や結合織の増生により大腸全体の緊張低下、運動低下が生じ、腸の蠕動運動が緩慢になり、便意の感覚や間隔が鈍くなり機能性便秘が起こりやすいです。高齢に伴い、食欲が減退し食事摂取量が減少すると、腸管への刺激が少なくなり、腸管の蠕動運動はさらに減弱します。また、腸管内圧上昇により

大腸憩室が増加し、腸管壁緊張低下を助長します。アウエルバッフ Auerbach 神経叢の変化も起こると感覚が鈍くなります。腸管全体の腸液分泌力低下により、便硬度が増大し便秘傾向となります。腸管内腔の拡張や左右結腸湾曲部の異常湾曲が起こると、ガス吸収機能が低下し、腹部の膨満感が起こります。認知症や脳脊髄疾患では、直腸肛門感覚が低下する

表1 加齢に伴う排便機能の変化

| 加齢による変化 | 排便機能への影響 |
|-----------------------|--|
| 腸管の固有筋層の萎縮や結合織の増生 | 大腸全体の緊張低下、運動低下が生じ、腸の蠕動運動が緩慢になり、機能性便秘が起こりやすい |
| 食欲減退による食事摂取量の減少 | 腸管への刺激が少なくなり、腸管の蠕動運動が減弱する |
| 腸管内圧上昇 | 大腸憩室が増加し、腸管壁緊張低下を助長する。Auerbach 神経叢の変化も起こると感覚が鈍くなる |
| 腸管全体の腸液分泌力の低下 | 便硬度が増大し便秘傾向となる |
| 腸管内腔の拡張や左右結腸湾曲部の異常湾曲 | ガス吸収機能が低下し、腹部の膨満感が起こる |
| 認知症や脳脊髄疾患による直腸肛門感覚の低下 | 排便反射が減退・消失し、便意感覚が損なわれるため、直腸に便が下りてきても便意を感じなくなる |
| 恥骨直腸筋やその周辺支配神経の退行性変化 | 直腸肛門角が鈍化し、便が漏れやすくなる |
| 腹筋や横隔膜筋力の低下 | 腹圧が弱まり、排便に関する筋力低下により便の排出が困難になり、直腸内に残便が停滞して糞便塞栓となると内肛門括約筋が弛緩状態となり、溢流性の便失禁の原因になる |
| 肛門括約筋の機能低下・不全 | 便失禁となる |
| 脳卒中、肺気腫、心不全などの疾患 | 十分な怒責が行えず、便の排出が不十分となる |
| ライフスタイルの変化 | 精神的影響が大きく、排便の変調をきたすことがある |
| 認知機能・運動機能の低下 | トイレが認識できない、トイレまでの移動が困難、トイレに座れないなどで、排便困難に陥る場合がある |
| パーキンソン病や脳梗塞などの疾患 | 便秘症状が出現しやすい |
| 大腸がんなどの器質的疾患 | 排便困難症状だけでなく、排便時に出血がある、便が細くなるなどの症状が生じる |